

事業体（団体）名	川崎市上下水道局
----------	----------

事業名称	ラオス・水道事業運営管理能力向上プロジェクト（MaWaSU3）
実施期間	2024年2月～2028年2月
主催機関	JICA
事業概要・目的	フェーズ2に引き続き、ラオス国の国家目標達成に向けて、国及び各都県における水道セクターの持続可能な体制強化を図り、水道セクターの管理・計画・運営能力向上に寄与する。 主な活動は次のとおり。(1)水道行政における公共事業運輸省水道局（DWS）の法令執行・モニタリング・管理能力の強化、(2)水道施設整備計画策定のための各都県公共事業運輸局（DPWT）と水道公社間の連携体制の強化、(3)水道公社に対する能力強化プログラムの体系化。 川崎市は長期・短期専門家を派遣し、プロジェクトに参画する4地方自治体（さいたま市、埼玉県、横浜市）とJICA間で連携を図り取組む。 2024年度実績 ・長期専門家（サブチーフアドバイザー）派遣：1名 ・短期専門家（水質部門）派遣：2名 ・研修生受入：10名
対象（相手）国・機関名	公共事業運輸省水道局(DWS)、各都県の公共事業運輸局(DPWT)、各都県の水道公社(WSSE)、及びラオス水道協会（LWWA）

写真



事業体（団体）名	川崎市上下水道局
事業名称	インドネシア・マカッサル市における地下漏水対策実行能力向上プロジェクトー水資源の有効利用に向けてー
実施期間	2022年11月～2025年10月
主催機関	JICA
事業概要・目的	インドネシア国のマカッサル市において大きな課題となっている高い無収水率の削減に向けて、地下漏水対策のための支援を目的として、JICA草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）を活用し、技術協カプロジェクト（略称 MaKaPro）を実施する。 MaKaProでは、カウンターパートであるマカッサル市水道公社職員の漏水防止対策の実行能力向上を事業目標としており、現地活動や水道公社職員の川崎市での研修受入を通じて、本市が培ってきた漏水防止対策の技術を効率的に移転することでマカッサル市の無収水率の削減を目指す。 2024年度実績 ・ 職員派遣 4 回 : 22名 ・ 研修生受入2回 : 6 名
対象（相手）国・機関名	インドネシア国・マカッサル市水道公社
写真  	